

【データヘルス計画・第3期計画書作成について】

第3期(令和6年度～令和11年度)データヘルス計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

1. データヘルス計画とは(平成27年(2015年)スタート)

- ・データヘルス計画とは国が推進する健康事業であり、超高齢化社会に備え、国民の健康寿命を延ばし、日本経済の活力向上を目指す取り組みです。
- ・健康保険組合では保有する加入者の健診結果やレセプトデータを分析し、個別の状況に応じた保健事業を効果的・効率的に行うことが求められています。

○なぜデータを活用した予防・健康づくりが必要なのか？

長寿社会における生活様式や価値観の多様性の中で、働き盛り世代の健康課題を解決するには、データを活用して加入者の特性に応じた働きがけが必要となります。それぞれの職場での健康状況や生活習慣(働き方)をデータから把握することが対策の検討につながります。
第3期データヘルス計画策定でも、データで捉えた加入者や職場の特性を踏まえた設計がポイントとなります。

2. データヘルス計画のねらい

- ・データヘルス計画は働き盛り世代の健康課題を解決するための事業計画
- ・加入者の健康を基盤として持続可能な健康保険制度の構築
- ・データヘルス計画の標準化によって保健事業の質の向上

○健保組合がデータヘルス計画で目指すこと

加入者の健康増進、そして病気の罹患や重症化を予防できれば、限りある医療資源を必要以上に消費せずに済み、加入者の人生の質は上がり、事業主にとっては人的経営(健康経営)にプラスとなります。

3. 第3期データヘルス計画の構成(計画書の概要)

STEP1-1	基本情報 ・健保組合の属性、年齢構成など	P.1～P.3
STEP1-2	保健事業の実施状況 ・健保組合が実施する保健事業 ・事業主が実施する保健事業	P.4～P.11
STEP1-3	基本分析 ・年齢区分別加入者構成 ・年度別・年齢区分別医療費総額／一人当たり医療費 ・レセプト分類別医療費構成(歯科、調剤、通院、入院) ・生活習慣病別医療費 ・疾病別医療費(疾病大項目の19分類) ・疾病別医療費(121分類も上位疾病) ・年度別・がん部位別医療費 ・年度別・メンタル系医療費 ・疾病別医療費(121分類)上位疾病(婦人科系疾患) ・問診回答別の傾向 ・特定健康指導実施率 ・特定保健指導レベル別人数 ・リスクフローチャート(糖尿病、脳卒中・心筋梗塞) ・CKDマップ(慢性腎臓病) ・BMI判定分布(健康分布図) ・内臓脂肪症候群該当数 ・後発医薬品の使用数、使用率	P.12～P.34
STEP2	健康課題の抽出、基本情報、保健事業の実施状況	P.35～P.43

以 上

※第3期データヘルス計画書の詳細については、添付の資料をご覧ください。